

浅善鉄工所の千葉工場を見学

協安カー品質及び製造に関わる責任者交流会

建築用アンカーボルトメーカー協議会(天雲博樹会長)は6月16日、「第5回 品質及び製造に関わる責任者交流会」を会員企業の(株)浅善鉄工所の千葉工場にて開催。

組みから人材採用と育成まで幅広い情報・意見交換などもなされ、自社の企業競争力強化に資する学びを得る貴重な機会となった。

当日は、現地へ直接集合組とチャーターバスでの移動組に分かれて11時半過ぎに参加者全員が千葉工場に到着。同社2階会議室へと移動してからオリエンテーションへと移る。同協議会の村瀬剛

理事(株)山陽ネッツ製作所の司会進行のもと、小澤英樹副会長(株)青戸製作所)が(株)浅善鉄工所に工場見学受け入れへの謝意を述べてから「会員企業の経営者を対象にした工場見学会は、会設立当初から全国各地でおこなってきたが、近年では製造や品質に携わる実務担当者にも参加して学んでもらうことを目的にこの交流会を開催しています。受け入れ側と双方にとっても有益な知識や情報を得られる貴重な機会となりますので、確りと学んでいただきたいと思います」と挨拶した。

同協議会事業活動の1つである「教育研修グループ」では、製造現場の品質や製造管理の社員等対象の交流会をこれまで4回開催している。コロナ禍以降初実施となる今回は、全国の所属会員

高品質製品提供に向けた各社の取り組みなど、幅広い内容で活用などまで幅広い内容での情報・意見交換と発表をおこない、各氏が企業競争力強化に資する学びやヒントが得られる貴重な時間を過ごした。

最後に天雲会長(テンクモ)より見学会・交流会への設営に対する謝意を述べてから、引き続き



天雲会長と、下は浅岡社長



次に浅善鉄工所の浅岡善太郎社長による会社紹

介へと移る。同社は1948年創業。土木・建築・橋梁用向けの各種ボルト類から、構造用両ねじアンカーボルトセットのほか、形鋼・溶接加工品などを主力に永年に渡り多様な産業へ納入をおこなっている。現在は本社(東京都江戸川区船堀)と生産拠点の千葉工場(千葉県いすみ市岬町和泉)の2拠点体制に基づく品質・納期・デリバリー管理体制を確立していることなどを説明。見学時における注意点などが発表されて、昼食休憩を挟んでから、社屋前にて参加者の記念撮影。

続いて3グループに分かれての工場見学がスタート。参加者には安全用ヘルメットに加え、各棟内の設備詳細を記載した地図や靴汚れ防止にシューズカバーも配布。先述の製品製造から、太径ボルト用の国内有数のねじ

切盤による特殊切削加工、検査室における引張試験機実演、ナットセッターラインとパレタイザーが連動した梱包ラインまで一連の工程をスタックが丁寧に紹介した。



社屋前にて記念撮影

見学会終了後は再び会議室へと移動してグループディスカッションを実施。①品質②製品③ブランド④コスト⑤その他への複数項目をテーマに、

の参加が呼び掛けられてから終了となった。